

貯蓄から投資へ ファイナンシャルプランナーがお伝えする

# 株式投資セミナー

参加費  
**無料**

● 12月のセミナーでは

**グラフ**を使いアメリカ・中国・日本・OPECの  
グローバル経済指標の現状を解説し、  
株式・為替についてご説明いたします。

2019年 **12月20日（金曜日）**  
15:00～16:30

\*要予約 お申込みは12月18日まで 定員になり次第締切り 受付は開始15分前



株式会社アイ・パートナーズフィナンシャル  
セミナールーム（参加人数により3FまたはB1）

協力：株式会社アイ・パートナーズフィナンシャル  
〒220-0005 横浜市西区南幸2-20-5東伸24ビル3階  
ホームページ <http://aip-financial.com/>

金融商品仲介業者 関東財務局長（金仲）第314号

お申し込みは・・・電話・FAX・メールにてお願いいたします。 お問合わせ解説担当：上原

**電話：045-329-7159 FAX：045-311-7133**

メール：t.uehara@aip-financial.com 電話は平日のみ 9:00～17:00

※ お名前・〒ご住所・お電話番号をお知らせをお願いします。  
お申込み確認後、「受付票」をご郵送いたします。当日ご持参ください。

ふりがな お名前			
ご住所	〒	—	都・県 区・市
	区・町		
TEL: Eメール	—	—	@

FAX



■株式会社アイ・パートナーズフィナンシャル 個人情報の利用目的■

ご記入いただきましたお客様の個人情報は、株式会社アイ・パートナーズフィナンシャル(以下弊社)及び関連会社のセミナー・商品サービスのご案内など、弊社の利用目的の範囲内で利用させていただきます。なお、弊社における個人情報の利用目的の詳細は弊社WEBサイト (<http://aip-financial.com/privacy/index.html>)に記載されている「個人情報保護方針」をご確認ください。

## 各種、**経済指標のグラフ**を見ながら マーケットの現状を確認し、「**株式投資**」への取り組み方をご説明するセミナーです。

IMF(国際通貨基金)は10/15世界経済見通しの修正発表をしました。

2019年の世界経済の成長率は7月の見通しから下方修正され、世界金融危機以降で最も低い3.0%としましたが2020年には持ち直し3.4%まで回復する見通しとしております。

しかし貿易摩擦の行方や低金利下での一部の国・民間における債務増大、地政学的な不透明感、新興・途上国における景気減速という様々な不安定要素が色濃く残っております。今後の世界経済における日本株を買い上げる動きが出る可能性はあるのかどうか？ここからの投資方針をどのようにするべきか検討していく必要があります。

“要注意の注目点 3つ”

### ① **米国の長短金利が逆転**

米国の長短金利が逆転しました。逆転すると景気後退を織り込み、株価がその後反落しやすかった点に注意が必要です。

### ② **米国中央銀行の今後の金融政策は、**

今年に入り米国中央銀行が利上げを休止し米中貿易摩擦の影響で利下げした中、今後のFRBの政策判断に注目です。

### ③ **米中貿易摩擦の行方**

中国は今年度の中国全国人民代表大会にて経済成長率の目標を「6~6.5%」に引き下げることを発表しました。貿易摩擦の交渉やハイテク分野の覇権もあり中国経済が世界にどのような影響を与えるか注意が必要です。

トランプ米政権が、米中貿易摩擦が続く中、税制改革・インフラ投資・移民規制さらにイラン・北朝鮮外交まで来年の大統領選挙対策の一環としないか注視されます。

## ● **下げ相場に対する方策はどのようにするべきか？ ご一緒に考えましょう！**



解説者

株式会社アイ・パートナーズフィナンシャル

ファイナンシャルプランナー

上原 孝志

職歴： 三菱UFJモルガン・スタンレー証券  
SMBC日興証券



●当セミナーにおいては個別銘柄の推奨や勧誘は一切ございません。株式・投資信託等の投資元本は保証されているものではなく、価格変動・信用・為替・流動性・カントリーリスク等のリスクを主因として、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。